

令和 6 年度 事業報告書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日

(至) 令和 7 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会

目 次

I. 法人運営事業

1. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施.....	2
2. 委員会の開催	4
3. 社協会員（一般・特別・法人）の加入推進.....	4
4. 連絡調整	5
5. 広報啓発活動	5
6. 熱中症対策普及事業	5

II. 地域福祉事業

7. 支部地区社協活動推進事業	5
8. 社会福祉大会の開催	6
9. 低所得者福祉	6
10. 法人後見受任事業	7
11. 心配ごと相談所の運営	8
12. ボランティアセンター事業	9
13. 共同募金配分事業	13
14. 善意銀行の運営	16
15. 福祉バス利用状況	17

III. 受託事業

16. 地域ケアシステム推進事業	17
17. 生活福祉資金貸付事業	19
18. フォローアップ支援事業	19
19. 生活困窮者自立相談支援事業	19
20. 日常生活自立支援事業	20
21. 在宅福祉サービスセンター事業	21
22. 子育て世帯訪問支援事業	21
23. 移動支援事業	22
24. 手話奉仕員養成講座	22

IV. 指定管理業務

25. 地域福祉センター事業の経営	22
-------------------------	----

V. 障害者支援事業

26. 障害者就労継続支援B型事業	23
27. 指定特定相談支援事業所	24

VI. 介護予防・日常生活支援総合事業

28. 通所型サービス「いきいき通所事業」.....	24
29. 訪問型サービス「ふれあいサポート事業」.....	24
30. 生活支援体制整備事業	25

VII. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

31. 居宅介護支援事業	27
32. 訪問介護事業	28
33. 訪問入浴介護事業	28
34. 居宅介護事業（ホームヘルプ事業）.....	28

I. 法人運営事業

1. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施

(1) 理事会

理事会は、法人の業務決定及び意思決定の機関並びに評議員選任の同意機関で、法人の中心となる会議です。

理事の合議体である理事会において法人の経営方針を立て、事業計画や予算等の法人の重要事項の方針決定に参画しました。

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 5. 28	第1回理事会	報告第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 議案第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 定款の一部変更(案)について 議案第2号 令和5年度 社会福祉法人笠間市社会 福祉協議会事業報告及び収支決算について 議案第3号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 評議員候補者の推薦(案)について 議案第4号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員の選任(案)について 議案第5号 令和6年度 第1回 評議員会の招集事 項について 業務報告 会長の職務執行状況の報告について	地域福祉センター ともべA館	9
7. 1. 20	第2回理事会	報告第2号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 職員給与規程の一部改正について 報告第3号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 非常勤職員就業規程の一部改正について 議案第6号 令和6年度 社会福祉法人笠間市社会 福祉協議会補正予算(第1号)(案)について 議案第7号 第10回笠間市社会福祉大会表彰者の 承認について 議案第8号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 評議員候補者の推薦について 議案第9号 令和6年度 第2回評議員会の招集事項 について 業務報告 会長の職務執行状況の報告について	地域福祉センター ともべA館	8
3. 19	第3回理事会	議案第10号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 定款の一部変更(案)について 議案第11号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 職員給与規程の一部改正(案)について 議案第12号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 職員就業規程の一部改正(案)について 議案第13号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 非常勤職員就業規程の一部改正(案)について 議案第14号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 嘱託職員就業規程の一部改正(案)について 議案第15号 令和7年度 社会福祉法人笠間市社会 福祉協議会事業計画(案)について 議案第16号 令和7年度 社会福祉法人笠間市社会 福祉協議会予算(案)について 議案第17号 役員等賠償責任保険契約締結につい て 議案第18号 令和6年度 第3回評議員会の招集事	地域福祉センター ともべA館	9

		項について 業務報告 会長の職務執行状況の報告について		
--	--	--------------------------------	--	--

(2) 評議員会

重要事項に関して意見を述べる諮問機関であり、理事のけん制機能を担う機関が評議員会です。

評議員会は、法人経営に直接携わる理事とは異なる立場から意見を述べることで、より良い法人の業務運営に資するよう努めました。

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 6. 21	第1回評議員会	報告第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 議案第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 定款の一部変更(案)について 議案第2号 令和5年度 社会福祉法人笠間市社会 福祉協議会事業報告及び収支決算について 議案第3号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 理事の選任(案)について	地域福祉センター ともべA館	12
7. 1. 29	第2回評議員会	報告第2号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 職員給与規程の一部改正について 報告第3号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 非常勤職員就業規程の一部改正について 議案第4号 令和6年度 社会福祉法人笠間市社会 福祉協議会補正予算(第1号)(案)について 議案第5号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 理事の選任について	地域福祉センター ともべA館	12
3. 28	第3回評議員会	議案第6号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 定款の一部変更(案)について 議案第7号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 職員給与規程の一部改正(案)について 議案第8号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 職員就業規程の一部改正(案)について 議案第9号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 非常勤職員就業規程の一部改正(案)について 議案第10号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会 嘱託職員就業規程の一部改正(案)について 議案第11号 令和7年度 社会福祉法人笠間市社会 福祉協議会事業計画(案)について 議案第12号 令和7年度 社会福祉法人笠間市社会 福祉協議会予算(案)について	地域福祉センター ともべA館	9

(3) 監査

理事の業務執行及び法人の財産状況について毎年、定期的な監査をし監査報告を行います。また、理事の業務執行、法人の財産状況に対する意見を表明しました。

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 5. 16	定例監査	(1) 令和5年度 社会福祉法人笠間市社会福祉協議 会事業及び収入支出決算監査について (2) 令和5年度 社会福祉法人茨城県共同募金会笠 間市共同募金委員会事業及び収入支出決算監査 について	地域福祉センター ともべA館	2
6. 12. 12	中間監査	(1) 令和6年度 社会福祉法人笠間市社会福祉協議 会事業及び収入支出状況について(令和6年4月 から9月分)	地域福祉センター ともべA館	2

2. 委員会の開催

(1) 広報委員会の開催(かさま社協だより)

発行日	事業概要(会議事項)	会 場	参加延人数
6. 4. 18	54号発行(編集、原稿校正 計5回)	地域福祉センターともべA館	46
12. 19	55号発行(編集、原稿校正 計5回)	地域福祉センターともべA館	49
7. 4. 17	56号発行(編集、原稿校正 計5回)	地域福祉センターともべA館	44

(2) 広報委員研修会の開催

実施日	事業概要(会議事項)	会 場	参加延人数
7. 3. 4	講義「広報紙づくりのポイント」 講師：DIVE 小池 隆夫氏	地域福祉センターともべA館	28

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

実施日	事業概要(会議事項)	会 場	参加人数
6. 5. 28	議案第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会評議員の選任について	地域福祉センターともべA館	4
7. 1. 20	議案第2号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会評議員の選任について	地域福祉センターともべA館	4

(4) 虐待防止及び身体拘束適性化検討委員会

実施日	事業概要(会議事項)	会 場	参加人数
7. 2. 25	1) 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会虐待防止及び身体拘束適性化検討委員会設置要綱の一部改正について 2) 虐待、身体拘束の状況報告について 3) 虐待防止等研修会の報告について 4) その他	地域福祉センターともべA館	6

3. 社協会員(一般・特別・法人)の加入推進

市民の皆さまからの会費は、すべて本会が実施する地域福祉活動に充てられます。

会員となっていただくことで「誰もが安心して暮せる福祉のまちづくり」に参加する仕組みとなります。

(1) 会員区分

法人会員3,000円以上、特別会員3,000円以上、一般会員1,000円以上

地区別会費額

単位：円

地 区	法 人	特 別	一 般	合 計
笠 間	262,000	44,000	5,837,000	6,143,000
友 部	912,000	633,000	8,088,000	9,633,000
岩 間	525,000	63,000	2,491,500	3,079,500
合 計	1,699,000	740,000	16,416,500	18,855,500

(2) 地区別助成金及び広報助成金

単位：円

地 区	助 成 金	広報助成金	合 計	備 考
笠 間	1,725,000	127,500	1,852,500	9支部・3地区
友 部	4,811,500	481,150	5,292,650	6支部
岩 間	606,500	9,950	616,450	9地区
合 計	7,143,000	618,600	7,761,600	

※広報助成金は、年2回以上広報紙を発行した支部(後期助成時)に助成します。

4. 連絡調整

関係機関、関係団体との連絡調整を図りました。

- (1) 県社協及び医療機関との連携
- (2) 民生委員・児童委員協議会との連携

5. 広報啓発活動

事業情報を広報紙、ホームページ、各種イベントで提供、啓発に努めました。

- (1) かさま社協だより54号、55号、56号の発行の発行
発行部数 24,000部
- (2) ホームページやSNS、デジタルサイネージによる広報啓発及び情報提供
- (3) 広報かさま「お知らせ版」の活用（講座やイベントの案内等）

6. 熱中症対策普及事業

笠間市熱中症対策普及団体の指定を受け、笠間市社会福祉協議会が実施する事業において熱中症対策注意喚起、熱中症対策チラシの配付、相談聴取、必要な助言の実施をしました。

期 間：令和6年7月29日から令和6年10月31日

実施事業	取組み内容
支部地区社協 地域サロン団体	支部地区社協27地区、地域サロン28サロン代表者及び対象者に200枚配付、担当者職員もサロンに出向き、熱中症に対する注意喚起を行いました。
配食活動	ひとり暮らし等250名へ弁当配達時に熱中症チラシを配付し注意喚起を行いました。
ボランティア活動者	約400名の社協ボランティア活動者に熱中症チラシを配付し、活動時に注意喚起を行いました。
高齢者実態把握	85歳以上のひとり暮らし高齢者で介護サービス未利用者へ訪問し、熱中症チラシ60枚配付し注意喚起を行いました。
在宅福祉サービス	家事支援、移送サービス利用者40名に熱中症チラシ配付し注意喚起を行いました。
障害者就労継続B型	毎日、朝礼、帰り際、休憩時間に水分補給や家庭でのエアコン等の利用を促しました。
介護予防通所事業 (いきいき通所)	170名の利用者へ熱中症チラシを配付し、朝・帰りの会等で水分補給や自宅でのエアコンの利用を促しました。
訪問介護事業	利用者自宅でのサービス提供時に体調の確認及び熱中症チラシを配付し、注意喚起を行いました。

II. 地域福祉事業

7. 支部地区社協活動推進事業

小学校区、行政区、公民館を単位として支部地区社協を設置しています。

「向こう三軒両隣り」の助け合い体制づくりを推進し、それぞれの地域にあわせた福祉の向上を目指しました。

- (1) 支部地区社協との連絡調整
支部地区社協との連携・会員会費の募集
市社協・支部社協共催事業の実施と支部活動との連携

①運営委員会

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 5. 31	友部地区支部社協 運営委員会	(1) 令和5年度事業報告について (2) 令和6年度事業について (3) その他	地域福祉センター ともべA館	17
6. 28	笠間地区支部社協 運営委員会	(1) 正副運営委員の選出について (2) 令和5年度事業報告について (3) 令和6年度事業について (4) その他	社協笠間支所	10

6. 25	岩間地区社協運営委員会	(1) 正副運営委員の選出について (2) 令和5年度事業報告について (3) 令和6年度事業について (4) その他	地域福祉センター いわま	8
10. 31	友部地区支部社協運営委員会	(1) 社協会員会費還元金(後期)について (2) 支部活動報告 (3) その他	地域福祉センター ともべA館	14
11. 25	岩間地区社協運営委員会	(1) 活動助成金(後期)について (2) 地区社協情報交換について (3) その他	地域福祉センター いわま	8
11. 25	笠間地区社協運営委員交流研修会	(1) 活動助成金(後期)について (2) 地区社協情報交換について (3) その他	東日本大震災・ 原子力災害伝承館	26

②地域福祉活動、支部社協・地区社協を理解するための学習会等

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 5. 31	友部地区支部社協運営委員会	講話「統計でみる笠間」 講師 企画政策課	地域福祉センター ともべA館	17
6. 26 7. 2. 19	中央支部女性部	高齢者のための配食勉強会	地域福祉センター ともべA館	20 20
6. 11. 1	宍戸支部女性部	高齢者のための配食勉強会	地域福祉センター ともべA館	17
11. 7 7. 2. 7	東支部女性部	高齢者のための配食勉強会	地域福祉センター ともべA館	16 16

8. 社会福祉大会の開催

第10回笠間市社会福祉大会

期 日：令和7年3月1日(土)

場 所：笠間公民館大ホール

顕 彰：会長表彰24名・7団体

会長感謝 3名・4団体

講 演：「まさか母が認知症?!最後の時まで紡いだ母と娘の幸せな時間」

講 師：菊田 あや子 氏（タレント・リポーター）

参加者：334名

9. 低所得者福祉

(1) 小口資金貸付事業

生活困窮者に対して、緊急的に必要とする生活費の貸付けを行い自立を支援しました。

運用状況

単位：円

項 目	合 計	件 数
①前年度繰越未償還額	1,270,200	63
②当 年 度 貸 付 額	700,000	44
③当年度貸付金償還額	506,000	35
④過年度貸付金償還額	385,500	23
⑤欠 損 処 分 額(前年度徴収不能引当金)	35,000	2
⑥未 償 還 金 計	1,043,700	64
⑦前 年 度 繰 越 金	1,266,050	
⑧通 帳 残 高(③+④+⑦-②)	1,457,550	
⑨徴収不能引当金(不能欠損予定額)	0	0
⑩次期貸付資金額(⑥+⑧-⑨)	2,501,250	

(2) フードバンク支給

NPO法人フードバンク茨城、カスミフードスクエア友部店及び株式会社ファミリーマートからの協力を得て、経済的に困っている方へ食料品等を支給しました。また、ボランティア団体等へ呼びかけ、家庭で余分にある食料品を集める「フードドライブ」を行い、フードバンク茨城に提供することで相互連携を図っています。

①支援延世帯

笠 間	友 部	岩 間	合 計
36	166	26	228

②きずなBOX・フードドライブへ寄せられた食品等

米	1,197.4kg
食品等	724.1kg

③カスミフードスクエア友部店から寄せられた食品

米	53.4kg
食品	80.4kg

④ファミリーマート7店舗から寄せられた食品

(笠間旭町店、友部インター店、笠間東平店、道の駅かさま店、笠間押辺店、笠間中央店、笠間近森店)

食品	196.9kg
----	---------

(3) ひきこもりサロン「さんぽみち」

ひきこもり状態にある方の社会参加を目的に居場所を提供しました。ひきこもりサロンでは、お茶を飲みながら雑談やゲーム（トランプ、ポッチャ、かるた等）を行い、参加された方の心が少しでも軽くなるよう、ほっと一息つけるような場を提供しています。

参加延べ人数 計81名 (男性41名 女性40名)

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	5	5	11	5	6	8	9	6	7	6	6	7	81

年齢別参加実人数 計10名 (男性6名 女性4名)

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0	3	3	0	0	0	6
女性	0	1	0	2	1	0	4
合計	0	4	3	2	1	0	10

10. 法人後見受任事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など判断能力に要支援課題が生じた者の判断能力を補うため、本会が成年後見人又は保佐人、補助人（以下「法定後見人等」という。）になることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人（以下「被後見人等」という。）の身上保護、財産管理を行い、その権利を擁護することを趣旨とする。

①運営委員会審査件数累計

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
承認	1	0	0	1
不承認	0	0	0	0

②新規受任件数累計

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③終了件数累計

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④実利用者数

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2

1 1. 心配ごと相談所の運営

心配ごと相談所では、相談員が日常生活の困りごとや心配ごとの相談を受けました。

法律相談は、弁護士による相談を実施しました。

※法律相談は、最初に心配ごと相談を受けた後、専門性が高い相談内容の場合に法律相談の予約となります。

(1) 相談員及び開設日

心配ごと相談員各地区6名

	笠 間	友 部	岩 間
心 配 ご と 相 談	第2・4火曜日	第2・4水曜日	第1・3木曜日
法 律 相 談	第3金曜日	第1金曜日	第2金曜日

(2) 相談内容及び相談件数

単位:件

相談事項	心配ごと相談				法律相談			
	笠間	友部	岩間	合計	笠間	友部	岩間	合計
生 計	2	0	0	2	2	1	1	4
年 金	0	0	0	0	0	0	0	0
職 業 ・ 生 業	0	1	0	1	0	0	0	0
住 宅	2	1	1	4	0	1	0	1
家 族	2	3	2	7	0	2	0	2
結 婚	0	0	0	0	0	0	0	0
離 婚	2	5	7	14	4	3	3	10
健 康 ・ 衛 生	0	1	0	1	0	0	0	0
医 療	0	0	0	0	0	1	0	1
精 神 ・ 衛 生	0	1	0	1	0	0	0	0
人 権 ・ 法 律	2	1	0	3	1	2	1	4
財 産	12	10	14	36	5	14	8	27
事 故	0	1	0	1	1	0	0	1
児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	1	0	1
教 育 ・ 青 少 年	0	1	0	1	0	0	0	0
障がい者(児)福祉	0	0	0	0	0	1	0	1
母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
高 齢 者 福 祉	0	0	0	0	0	0	0	0
苦 情	1	2	0	3	0	1	0	1
そ の 他	3	8	10	21	2	6	2	10
合 計	26	35	34	95	15	33	15	63

(3) 研修会・ケース検討会

地 区	事業・会議名	会 場	参加延人数
笠 間	ケース検討会(6/11、10/22、2/25)	社協笠間支所	13
友 部	ケース検討会(6/17、11/18、2/17)	地域福祉センターともべA館	19
岩 間	ケース検討会(6/20、10/17、2/20)	地域福祉センターいわま	18
全地区	3支所合同研修会(2/18)	水戸家庭裁判所	15

12. ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談、支援、登録、情報収集及び提供等を行いました。

また、講座等を開催し福祉活動への理解と参加を推進しました。

(1) ボランティアセンター事業の推進

- ・推進員2名を配置
- ・栄養士1名を配置
- ・ボランティアサークル(82サークル1,314人が活動)
- ・個人ボランティア (9人が活動)

(2) 主な会議

運営会議・代表者会議・委員会等

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 7. 23	茨城県中央ボランティア連絡会 第1回運営委員会	(1) 令和6年度 役員の選任について (2) 令和5年度 事業報告及び収入支出決算について 令和6年度 事業計画及び収入支出予算(案)について (3) 情報交換	大洗町ゆっくら健康館	1
7. 2. 13	茨城県中央ボランティア連絡会研修交流会	講演会 「大洗高校50年での音づくり人づくり」 県立大洗高等学校 マーチング部 総監督 有國浄光 氏	トヨペットスマイルホール大洗	11
3. 17	茨城県中央ボランティア連絡会 第2回運営委員会	(1) 令和6年度 事業報告並びに収入支出決算について (2) 会計監査報告について (3) その他(情報交換等)	大洗町健康福祉センターゆっくら健康館	1
6. 5. 23	笠間市ボランティア連絡協議会総会	(1) 令和5年度 事業報告について (2) 令和5年度 収入支出決算報告について 監査報告 (3) 令和6年度 役員の改選について (4) 令和6年度 事業計画(案)について (5) 令和6年度 収入支出予算(案)について (6) その他	地域福祉センターともべA館	10
6. 25	第1回笠間市ボランティア連絡協議会役員会	(1) 研修会について (2) ふれあい訪問事業について (3) その他	地域福祉センターいわま	11
11. 13	第2回笠間市ボランティア連絡協議会役員会	(1) ふれあい訪問事業について (2) 研修会について (3) その他 県中央ボランティア連絡協議会について	地域福祉センターともべA館	11
11. 22	笠間市ボランティア連絡協議会交流会	「ボッチャ大会」	笠間市民体育館	235
12. 15	笠間市ボランティア連絡協議会市へ協力事業	第18回かさま陶芸の里ハーフマラソン大会 スープサービス(味噌汁)の提供	笠間芸術の森公園	12
7. 3. 24	第3回笠間市ボランティア連絡協議会役員会	(1) ボッチャ交流会の振返り (2) ハーフマラソン大会の振返り (3) その他	地域福祉センターともべA館	10
6. 4. 8	笠間支部監査	(1) 令和5年度 会計監査	社協笠間支所	2
4. 22	笠間支部総会	(1) 令和5年度 事業報告について (2) 令和5年度 収入支出決算報告について	社協笠間支所	31

		監査報告について (3) 令和6年度 事業計画(案)について (4) 令和6年度 収入支出予算(案)について (5) その他		
5. 20	笠間支部 第1回運営委員会	(1) 笠間支部研修会について (2) 福祉バザーについて (3) 令和6年度 ふれあい訪問事業について (4) 市ボランティア連絡協議会研修会について	社協笠間支所	11
7. 1	笠間支部 第2回運営委員会	(1) 市ボランティア連絡協議会交流会について (2) ふれあい訪問事業について (3) 笠間支部研修交流会について (4) 福祉バザーについて	社協笠間支所	12
9. 9	笠間支部 第3回運営委員会	(1) 市ボランティア連絡協議会交流会について (2) ふれあい訪問事業について (3) 福祉バザーについて (4) ふれあい訪問事業について (5) 義援金について	社協笠間支所	12
10. 21	笠間支部 第4回運営委員会	(1) 福祉バザーについて (2) ボランティア連絡協議会笠間支部交流会について	社協笠間支所	12
12. 9	笠間支部 第5回運営委員会	(1) 福祉バザーについて (報告) (2) ボランティア連絡協議会笠間支部交流会について (3) ふれあい訪問事業について	社協笠間支所	12
7. 3. 3	笠間支部 第6回運営委員会	(1) ボランティア連絡協議会笠間支部令和7年度総会について (2) 義援金について (3) 笠間市社会福祉大会報告について (4) 笠間市ボランティア連絡協議会加入申請書の提出について (5) ボランティア連絡協議会笠間支部交流会報告	社協笠間支所	12
6. 4. 15	友部支部 第1回代表者会議 (総会)	(1) 令和5年度 事業報告及び収入支出決算について 監査報告 (2) 令和6年度 事業計画(案)及び収入支出予算(案)について (3) その他	地域福祉センター ともべA館	33
8. 30	友部支部 第2回代表者会議	(1) ボランティア研修会について (2) ふるさとまつり in かさまについて (3) その他	地域福祉センター ともべA館	36
12. 18	友部支部 第3回代表者会議	(1) ふるさとまつり in かさま バザー報告等 (2) ボランティアサークル代表者研修報告 (3) ボランティア大集合について	地域福祉センター ともべA館	35
6. 5. 10	岩間支部総会	(1) 令和5年度 事業報告について (2) 令和5年度 決算報告について 監査報告について (3) 令和6年度 事業計画(案)について (4) 令和6年度 予算(案)について (5) 勉強会「備えて安心防災・減災について」 笠間市危機管理課	地域交流センター あたご	78
5. 22	岩間支部 第1回委員会	(1) 令和6年度 研修交流会(ミニ講座)について (2) 岩間支部研修会について (3) 福祉バザーについて	地域福祉センター いわま	22

		(4) 夏休みわくわく体験実施に伴う協力依頼について (5) 県、市福祉大会について		
5. 22	第1回 食事づくり ボランティア打合せ	(1) 配食サービス・いきいき通所事業人数について (2) 食材の購入について (3) 盛り付けの留意点について (4) その他	地域福祉センター いわま	14
9. 11	岩間支部 第2回委員会	(1) 福祉バザーの開催について (2) 市ボランティア連絡協議会交流会について (3) わくわく体験教室 感想について (4) ふれあい訪問事業の協力について (5) 地域交流センターあたと社協2階調理室清掃について (6) 保菌検査の実施について	地域福祉センター いわま	21
9. 11	第2回 食事づくり ボランティア打合せ	(1) いきいき通所事業 そば用天ぷら調理依頼について (2) 配食サービスやいきいき通所事業の利用人数について (3) 炊飯の目安について (4) 材料購入の目安について (5) その他 冷凍庫について	地域福祉センター いわま	12
7. 1. 22	岩間支部 第3回委員会	(1) ミニ講座について (2) 福祉バザーについて (3) 市ボランティア連絡協議会交流会について (4) 岩間支部交流会について (5) 岩間支部第4回役員会、委員会について (6) 岩間支部令和7年度 総会について (7) いきいき通所事業について (8) 配食サービス利用者、ボランティア負担金について (9) 笠間市社会福祉大会について (10) 令和7年度 ボランティア登録について	地域福祉センター いわま	20
1. 22	第3回 食事づくり ボランティア打合せ	(1) 配食サービスやいきいき通所事業の利用人数について (2) 令和7年度 配食サービスについて (3) いきいき通所事業について (4) その他 調味料について	地域福祉センター いわま	12
3. 31	岩間支部 第4回委員会	(1) 役員改選について (2) 岩間支部交流会について (3) 令和7年度 岩間支部総会について (4) 令和7年度 ボランティア連絡協議会加入について (5) 令和7年度 サークル助成金について	地域福祉センター いわま	19

(3) 福祉育成事業

「子どもの時から福祉の芽を」をモットーに学校や地域で福祉体験学習や講演会等を行い、福祉の心を育てました。

①児童・生徒の福祉講座

夏休みわくわく体験教室

地区	開催日	内 容	参加者延人数	協力者延人数
笠間	6. 7. 25 ～8. 9	スクエアステップ・工作A・工作B・ゴキちゃんコロリ ・パステル和みアート・手話	44	21

友部	6. 7. 21 ～8. 8	竹細工の水鉄砲・切り絵・貝殻水族館・手打ちそば・ 防災訓練・はり絵・点字・ジャムづくり・手づくりフ クロウづくり・手話	208	110
岩間	6. 7. 30 ～8. 8	体操と物づくり・手打ちそば・手話・スクエアステッ プ・点字・ボッチャ体験・ピザづくり	65	41
合 計			317	172

②福祉川柳募集

児童・生徒、また住民の福祉への理解が深められることを目的として、福祉に関わることをテーマにした川柳を児童・生徒から募集しました。

応募・掲載者数（全体 667人）

	応募・掲載者数
小学生の部	529
中学生の部	138

※福祉川柳については、生涯学習課を通じて、教育委員会グーグルドライブに保存し期間限定で、児童用タブレットから閲覧できるようにしました。

③各種教室の開催

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 8. 3	仕事とお金のお話	生活するために必要なことを親子で一緒に考える	地域福祉センター ともべA館	児童7 保護者5
7. 31 8. 7	キッズ読み聞かせ 教室（2回教室）	声を出して読むことで、理解が深まることを実感 し、伝えることの大切さや楽しさを学ぶ	地域福祉センター ともべA館	12 10
8. 21 9. 9 11. 8 12. 2 3. 10	笑育講座（全5回）	幼児安全法（AED、事故予防と手当） コーヒー講座（地域の八雲珈琲協力） 親子ヨガ おやつ作り（岩間ボランティア協力） 餃子作り（中央支部女性部協力）	地域福祉セン ターA館	4 4 5 12 10
2. 8	チャレンジボラン ティアスクール手話編	手話を学ぼう 手話で歌を歌おう	地域交流センター ともべ	8
10. 23 10. 30	女性の食事学講座 （2回講座）	麴を使った時短料理	地域福祉センター ともべA館	6 5
7. 2. 19	傾聴ボランティア 養成講座	相手の話に耳を傾けること、気持ちに寄り添い受 け止めることなどを学ぶ	地域福祉センター ともべA館	18

④市民対象の福祉講座

ボランティア活動育成のための学習会

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 6. 20 7. 18 8. 22 9. 19 10. 10 11. 21 12. 19 7. 1. 16 2. 13 3. 13	読み聞かせ講座 （10回）	正しい発声や、元気に声を出すための講座	地域福祉センター ともべA館	16 14 14 14 14 15 13 14 13 13
6. 6. 18	第一火曜日の会 （3回）	ボッチャ審判講習会	地域福祉センター ともべA館	13
10. 1		写真フレームづくり	地域福祉センター ともべA館	15

12. 3		布で作るフラワーリース	地域福祉センターともべA館	14
10. 8	大人の福祉体験教室	市内学校における福祉体験での指導方法 車いす、アイマスク、シニア体験	地域福祉センターともべA館	15
7. 2. 26	子育てママパパ応援講座（全2回）	就学に必要な手提げ袋、シューズ入れづくりをボランティアが指導	地域福祉センターいわま	5 5
6. 9. 18	手話奉仕員養成講座修了生（フォローアップ編：全10回）	手話奉仕員養成講座修了生に対し、聴覚障がい者の指導による実体験を体感しながら、スムーズにコミュニケーションを図るためのレベルアップの講座 ※1/21は市の危機管理課担当者を講師に迎え、聴覚障がい者への支援を含む防災に関する講話を実施	地域福祉センターともべA館	12 11 10 8 10 11 11 10 11 11 10
6. 10. 24	点字ボランティア養成講座	点字を基礎から学び、市内の小中学校で点字体験の指導を行う人材を育成	地域福祉センターともべA館	3 2 2

⑤災害支援ボランティア活動

令和6年能登半島地震に係る災害ボランティアセンター支援活動

日 程	事業名	内 容	派遣先	派遣
6. 7. 29 ～8. 4	能登半島地震に伴う災害ボランティアセンター運営支援	能登半島地震被災地へ災害救援職員を派遣し輪島市災害ボランティアセンター門前地区において、現地調査やボランティアセンター運営の業務を実施	石川県輪島市	1

⑥災害ボランティアセンター運営訓練（職員対象）

日 程	事業名	内 容	会 場	参加者
6. 6. 1	災害ボランティアセンター運営訓練 I V O S 研修	パソコンを使用しての必要な情報の入力と入力した情報の管理操作等	地域福祉センターともべA館	27
7. 8	災害ボランティアセンター設置運営訓練	災害時におけるボランティア活動支援に資質向上を目指し災害ボランティアセンターの運営に関する実践的な訓練	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館	2
7. 23 8. 26	県社協職員災害初動期対応チームメンバー養成研修	災害ボランティアセンターを取り巻く環境の変化や、本研修のねらいや目標を共有する	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館	3
7. 1. 8	県社協職員災害初動期対応チームステップアップ研修	災害ボランティアセンターのマネジメント実務を担う為の知識を習得	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館	1
2. 24	災害ボランティアセンター運営訓練 VC 設置研修	災害を想定し、実際に災害VCの設置運営訓練を実施	地域福祉センターともべA館	31

※ I V O S とは、災害ボランティアセンターを円滑に運営できるようにするソフトです。

13. 共同募金配分事業

(1) 配食サービス事業の実施

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、食事づくりが困難な方に食生活を支援し、心のふれあい活動を行いました。

地区	活動回数	利用者延人数	協力ボランティア延人数
笠間	43	2,132	990
友部	61	1,947	1,206
岩間	45	1,614	480

(2) ボランティアにおける在宅サービス活動

地区	活動ボランティア	活動回数	利用者延人数	協力ボランティア延人数
笠間	電話訪問(ふれあい電話)	28	29	35
友部	電話訪問(ふれあい電話)	181	515	181
	声の広報(むぎぶえの会)	12	36	72
	点 訳(三六の会)	38	36	348
	傾 聴 ひ ま わ り	48	72	66
岩間	電話訪問(ふれあい電話)	24	185	24
	点字(点字の会まごころ)	21	0	46
	傾 聴 す ず ら ん	20	245	71

※点字まごころ(岩間)第4火曜日の活動は、点訳三六の会(友部)と合同で活動しています。

(3) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

①市教育委員会との連携

②福祉協力校への助成 36ヶ所

(幼稚園・保育園・こども園16ヶ所, 小中学校17ヶ所, 高校3ヶ所) 760,000円

③ボランティア普及事業協力校指定に伴う担当者会議の開催

実施日	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
6. 6. 19	協力校担当者会議 (幼稚園, 保育園, こども園, 小学校, 中学校, 高校担当者)	1. ボランティア活動普及事業協力校事業報告について 2. ボランティア活動普及事業協力校助成金について 3. 社協事業計画について	地域福祉センターともべA館	31

④先生方の福祉研修会の実施

実施日	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
6. 8. 21	「笠間市児童・生徒のボランティア活動普及事業」先生方の研修会	点字体験、手話体験	地域福祉センターともべA館	20

⑤学校依頼による福祉体験学習

実施日	学校名	内 容	参加者延人数	協力者人数
6. 6. 13	稲田中	車いす・高齢者疑似体験・手話・点字体験	48	9
9. 11	稲田小	ふくしのお話し	18	(職員対応)3
11. 5	笠間小	手話・点字・車イス体験	113	16
11. 19	大成学園かさまこども園	手話体験	93	5
11. 26	みなみ学園義務教育学校前期課程	車イス・アイマスク体験	18	3
7. 22	友部小	手話	115	4
6. 11. 22	友部二小	車いす・アイマスク・シニア体験	92	12
7. 2. 6		手話・点字	93	12
6. 8. 1	友部二中	ボッチャ、アイマスク、シニア、車いす	133	16
6. 4	北川根小	アイマスク、車いす、シニア	43	7
10. 9	大原小	車いす・アイマスク・シニア体験	17	4
11. 2	岩間二小	二小まつり ボッチャ体験	22	3
7. 2. 18	岩間三小	車いす、シニア体験	41	8
合 計			846	102

⑥赤い羽根共同募金ポスター募集

市内の小中学生を対象に赤い羽根共同募金に関するポスターを募集しました。赤い羽根共同募金の推進スローガンである『じぶんの町を良くするしくみ。』をテーマに、募金を使って「この町にあったら良いな!」と想うことを描いてもらいました。

作品数	小学生の部	181作品
	中学生の部	31作品
ポスター展示	10月16日～10月23日	ポレポレシティ（イオン笠間店）
	11月20日～11月27日	地域交流センターTomoa（トモア）
	12月18日～12月25日	市民センターいわま（笠間市役所 岩間支所）

（４）高齢者・障がい者福祉

①訪問カットサービス

寝たきりの高齢者や障がい者への理容、美容の訪問サービスを行いました。（１人４回まで）

	対象人数	延回数	協力事業所
合計	42	123	13

②年忘れ配食

配食サービスを利用しているひとり暮らし高齢者に、ボランティアによる手作りのお弁当を届けました。

	合計
配付数	173

③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業

75歳以上のひとり暮らし高齢者を訪問し、見守りと心のふれあいを図るため配付しました。

（ボランティア手作りキャップ開け・市内小学校からのメッセージカード）

	合計
配付数	1,744

④団体助成

民生委員児童委員協議会（笠間地区、友部地区、岩間地区）・遺族連合会・更生保護女性会・在宅介護者の会・身体障害者福祉協会に助成しました。

単位：円

助成数	合計
10団体	879,000

（５）広報活動

ボランティアセンターだよりの発行（社協だよりに記事掲載）

（６）遺児養育手当

市に住所を有し、かつ、居住する、父母または父か母と死別した義務教育修了前の児童・生徒を、家庭において養育している方に、遺児１人につき月額2,000円を支給しました。

単位：円

世帯数	人 数	共同募金配分金より	寄付金より（三共金属工業所）
23 （うち新規2世帯）	31 （うち新規3人）	712,000	93,000

（７）新入学児童祝金

市内に住所を有し、居住するひとり親世帯（母子・父子）で小学校及び中学校の新入学児童・生徒の保護者に、小学校新入学児童1人につき5,000円を支給しました。

単位：円

世帯数	人 数	共同募金配分金より	寄付金より（三共金属工業所）
62	63	315,000	189,000

※(6)(7)につきましては、(有)三共金属工業所様より寄付があり、3,000円上乗せしました。

(8) 歳末援護金

市民税が非課税世帯の方に、明るく新年を迎えられるよう配分しました。

(配分金額：1人世帯5,000円、2人以上世帯7,000円)

単位：円

事業	配分金額	世帯
援護金（ひとり暮らし高齢者）	2,535,000	507
〃（高齢者世帯）	273,000	39
〃（要介護4・5の世帯）	35,000	5
〃（母子世帯）	357,000	51
〃（父子世帯）	21,000	3
〃（身体障がい児・者世帯）	126,000	20
〃（知的障がい児・者世帯）	35,000	5
〃（精神障がい児・者世帯）	14,000	2
〃（生活困窮者世帯）	352,000	58
〃（準要保護世帯）	0	0
振込手数料・郵送料・消耗品	283,668	
合 計	4,031,668	690

(9) 子育て支援フードパントリー事業

フードパントリーとは、食の支援を必要としている方へ食料品等を無料で提供する活動です。

現在の物価高騰により、生活に影響を受けている「子育て世帯等」の日常生活を支援するため、お米5kgと日用品等を配布しました。

期 間	対象者	世 帯
R6.4.15～5.15	妊婦世帯	19世帯
R6.6.10～6.13	ひとり親世帯等	53世帯
R6.11.1～R7.1.31	ひとり親世帯等	155世帯

※この事業は、茨城県共同募金会「地域共生社会づくり特別助成」を活用しました。

14. 善意銀行の運営

皆さまから善意の金品をお預かりし、地域福祉活動や福祉団体へ助成するなど、福祉の充実に向けて大切に活用させていただきました。

(1) 善意銀行

①金銭預託の部

単位：円

	金 額	件数	内 訳
前年度繰越金	20,377,780		
預 託 金	1,214,471	41	
合 計	21,592,251		
払 出 金	3,235,448	16	・法人運営事業へ繰出 5件 ・地域福祉事業へ繰出 10件 ・共同募金配分事業へ繰出 1件
次年度繰越金	18,356,803		

②物品預託の部

- 使用済み切手、未使用切手等、エコキャップ、廃品回収アルミ缶
- 福祉用品（車いす、オムツ等）
- 生活用品類（米、野菜、レトルト食品、カップ麺、缶詰、調味料、タオル、雑巾等）
- その他（スポーツ用具、配食用弁当掛け紙、座布団、本、文房具セット等）

③物品払い出しの部

市内福祉施設、茨城県社協、ボランティア連絡協議会各支部へ払い出しました。

(2) 福祉機器などの貸出しサービス

車いす、松葉杖、インスタントシニア、点字版、ポップコーン機、綿あめ機、かき氷機、着ぐるみ、福祉車輛（燃料代実費負担）を貸し出しました。

15. 福祉バス利用状況

福祉バスの管理・運営

福祉バス利用状況報告

月	利 用 団 体 数					利用延人員
	社協			行政	合計	
	事業	支部地区	ボランティア			
4月	1	1			2	66
5月		2			2	65
6月		3	2		5	140
7月		1			1	20
8月						
9月	1				1	30
10月	1	6	3	1	11	309
11月	1	8	4		13	341
12月	1				1	30
1月		1			1	35
2月		1			1	44
3月		2			2	65
合計	5	25	9	1	40	1, 145

Ⅲ. 受託事業

16. 地域ケアシステム推進事業

高齢者や障がい者などが、住みなれた地域で安心して暮らせるように地域住民、医療、保健、福祉の関係者でチームをつくり日常生活を支援しました。また、定期的にモニタリングを行うことでケアチーム対象者の状況把握に努めました。

・モニタリング件数 計 314件

(1) 在宅ケアチーム等の現況

区 分	相談件数（延）	クイック調整会議開催数	チーム数
介護保険給付対象者	516	7	87
ひとり暮らし高齢者	594	0	90
その他要援護高齢者	83	0	15
身体障がい者	45	1	1
知的障がい者	383	9	7
精神障がい者	584	5	13
難病患者他	36	0	3
子育て親等	14	0	0
終末期患者	12	1	0
DV被害者	0	0	0
ひきこもり	5	0	0
その他	147	2	0
合 計	2,419	25	216

(2) 地域包括ケアシステムネットワーク

行政を中心とした、地域包括ケア代表者会議等のワーキングに参加することにより関係機関（医療・保健・福祉）、協力機関、地域住民等との連携による「笠間市地域包括ケアシステムネットワーク」を構築しました。

(3) 救急医療情報キット設置報告

地域ケアコーディネーターが高齢者や障がい者世帯等に対し、救急搬送時に活用するための情報を収集した、救急医療情報キットを設置しました。

・キット設置件数 計 348件

(4) 高齢者の実態把握調査

85歳以上のひとり暮らし高齢者やサービス未利用者等を訪問し、身体状況や日常生活等の把握や各サービス案内を行いました。

・訪問件数 計 213件

(5) 会 議

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
6. 6. 24	地域包括ケアシステムネットワーク 代表者会議	前年度検討内容の報告、地域課題検討会からの協議事項など	地域医療センター かさま	1
7. 2. 14				1
6. 6. 20	地域包括支援センター運営協議会, 地域密着型サービス運営委員会	地域包括支援センターの事業報告及び収支決算・計画及び収支予算、地域密着型サービス事業者の利用状況実地指導など	市役所本庁	1
7. 2. 17				1
6. 8. 26	認知症ワーキング	認知症施策について	市役所本庁	2
12. 16				3
6. 13	地域包括ケア会議	講話や事例検討(見える事例検討)など	地域交流センター いわま	3
7. 11			地域医療センター かさま	3
10. 10			笠間公民館	3
11. 14			地域交流センター いわま	3
7. 2. 13			地域医療センター かさま	3
3. 13			笠間公民館	2
6. 8. 29	地域包括ケア会議 (個別)	個別ケース検討	社協岩間支所	1
6. 6. 19	こころの医療連携 会議	講話・懇談（ケース相談）	地域医療センター かさま	1
6. 10. 16			市役所本庁	1
毎月 第2(木)	定期報告会	在宅ケアチーム一覧のモニタリング、介護保険サービス未利用者実態調査の報告及び近況の情報交換や今後の対応の検討	社協各支所	毎回3
6. 7. 10	身寄りのない高齢者支援打ち合わせ 会議(視察)	身寄りのない高齢者に対する新事業についての検討	市役所本庁	4
7. 22			社協本所	5
8. 2			東海村社協	5
8. 13			市役所本庁	5
8. 29				4
9. 10				4
9. 20			社協本所	4
10. 11				4
11. 6				5
11. 11			小美玉市社協 小川支所	3
12. 10			社協本所	5
7. 1. 28			市役所本庁	3
2. 17			社協本所	2
3. 13				4
3. 17				4
3. 25			市役所本庁	6

(6) 研修会

実施日	研修名	主催	会 場	参加者
8.28	エンディングノートの書き方ポイント勉強会	笠間市包括支援センター	市役所本庁	3

17. 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対し、安定した生活が送れるよう、生活資金の貸付けを行い自立を支援しました。

※県社会福祉協議会の審査があります。

単位：円

資金項目	現貸付件数	滞納件数	貸付者数	全体額
総合支援資金	30	27	0	14,990,384
福祉・教育・小口	44	35	0	56,247,063
離職者支援・要保護不動産担保	2	1	0	9,691,354
合計	76	63	0	80,928,801

18. フォローアップ支援事業

コロナ特例貸付の償還が令和5年1月から開始され、償還免除の承認を受けた方や償還が困難な方など、本貸付が自立の阻害とならないよう継続的に支援しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立相談支援機関へつなぐ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償還免除申請書への記載援助	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
償還免除未申請者へ償還免除を案内	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	2	0	6
県社協へ少額返済の相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
償還猶予相談	0	0	0	0	2	3	0	1	1	0	0	0	7
その他（生活状況把握・住所変更届等）	102	108	89	105	127	51	92	77	77	57	65	100	1,050
												活動実件数	1,066
												世 帯 数	263

特例貸付債権数	世帯数	償還免除債権数	償還完了債権数	償還猶予債権数
1,283	561	475	138	9

19. 生活困窮者自立相談支援事業

経済的に困窮している方に対し、相談支援員等と一緒に課題を整理しながら自立プランを立て、自立に向けた解決策を図るお手伝いをします。この制度は、生活保護に至る前の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施することで、「自立の促進」を図ることを目的としています。自立相談支援事業及び家計改善支援事業を笠間市より受託し、生活に困っている方が抱える様々な問題・悩みに対応し、自立した生活を営めるように相談及び支援を行いました。

①新規相談者数 計25名

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	1	0	6	4	4	2	2	19
女性	0	0	1	2	3	0	0	6
合計	1	0	7	6	7	2	2	25

②支援件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規者	実人数	5	3	1	1	0	0	4	3	2	2	1	3	25
	支援延件数	12	13	18	11	6	2	9	17	25	24	27	14	178
	就労支援延件数	6	7	11	16	9	13	14	11	13	12	7	5	124
継続者	実人数													208
	支援延件数	22	34	28	29	17	22	33	41	32	24	11	38	331
	就労支援延件数	6	12	11	7	2	4	15	10	6	6	1	4	84

③就労者数 計8名

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0	4	0	1	2	0	7
女性	1	0	0	0	0	0	1
合計	1	4	0	1	2	0	8

就労先：一般企業等（アクセスネットワーク、セブンイレブン、カゴメ、弘喜銘木、ヴァレンチア、葵板金興業、ゴルフ場、森永ミルクセンター）

④住居確保給付金 計3名

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0	2	0	0	1	0	3
女性	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	2	0	0	1	0	3

⑤家計改善支援事業 計6名

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	1	0	0	1	1	0	0	3
女性	0	0	1	2	0	0	0	3
合計	1	0	1	3	1	0	0	6

20. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理をして、暮らしの“あんしん”をお手伝いする制度です。

笠間市社会福祉協議会が基幹の社協として専門員を配置し、相談援助及び利用契約締結した対象者に対して15名の生活支援員が金銭管理等の支援を行いました。

(1) 相談援助件数累計（問い合わせ・相談援助件数）

内 容 事 項	本事業の利用に関するもの				合計
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	
a. 問い合わせ件数 (制度、事業について)	7	1	2	3	13
b. 初 回 相 談 件 数 (初回相談受付)	3	1	2	0	6
c. 相 談 援 助 件 数 (a. b以外)	418	517	1, 160	124	2, 219
合 計	428	519	1, 164	127	2, 238

(2) 契約締結件数累計

事 項	対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計 (内生活保護者)
契 約 者 数		1	1	2	0	4(2)
契約時 自宅外 (内訳)	施設	0	0	0	0	0
	病院	0	0	0	0	0
	グループホーム	0	0	1	0	1

(3) 終了件数累計

事 項 \ 対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
累 計	4	2	3	0	9

(4) 対象者別利用者数 計52 (笠間7 友部40 岩間5)

事 項 \ 対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
実 利 用 人 数	15	16	18	3	52

2 1. 在宅福祉サービスセンター事業

日常生活に不安を感じている高齢者や障がい者、子育て支援を必要としている方を対象に、地域で安心して生活ができるように、住民の参加と協力による会員制の有償サービスを提供しました。

サービス内容

- ・家事支援：食事づくり・買い物・清掃・洗濯など
- ・移送サービス：専用車両での通院時の送迎
- ・子育てサポート：乳幼児の預かり保育など

①事業研修

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場	参加者
6. 7. 30	研修会	子育て世帯訪問支援事業説明・支援員研修	市役所本庁	9
7. 1. 20	研修会	基準緩和型サービス従事者養成研修	市役所本庁	5
3. 29	講習会	移送サービス運転者認定講習会	地域福祉センターともべA館	1
3. 30	講習会	移送サービス運転者認定講習会	地域福祉センターともべA館	1

②活動状況

サービス内容	利用延回数	利用延時間	協力延会員
家事支援サービス	860	993. 0	860
移送サービス	1, 200	1, 397. 5	1, 200
子育てサポート	38	73. 5	38
合 計	2, 098	2, 464. 0	2, 098

③会員数

	笠 間	友 部	岩 間	合 計
協力会員	15	51	9	75
利用会員	74	160	41	275
賛助会員	22			22

2 2. 子育て世帯訪問支援事業

家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を訪問支援員が訪問し、家庭の抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とします。

①活動状況

サービス内容	利用延回数	利用延時間	協力延会員	内 容
家事支援サービス	0	0	0	
移送サービス	12	24	12	病院や施設等
子育てサービス	0	0	0	
合 計	12	24	12	

23. 移動支援事業

利用者が社会生活上必要不可欠な外出及び、余暇活動等の社会参加のための外出の際にヘルパーを派遣し、安全に移動できるように支援しました。

- ・屋外での移動に困難がある障がい者・障がい児及び医師により発達に障がいがあると診断された方が対象
- ・利用者はサービスに係る費用の1割負担

利用延人数	利用延時間
12	94

24. 手話奉仕員養成講座

手話で日常会話を行うのに必要な手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成し、聴覚障がい者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるサポートや交流活動への「きっかけ」につなげています。

講座終了後はサークル化を目指し、ボランティアの増加を図っています。

利用延人数	回数
276	21

IV. 指定管理業務

25. 地域福祉センター事業の経営

(1) 地域福祉センターともべA館・B館

①利用延人数及び利用団体数

名 称	利用延人数	団 体 数	名 称	利用延人数	団 体 数
ボランティア	8,173	694	ま ろ ん	650	239
支 部 社 協	2,136	140	社 協	1,977	361
団 体	1,269	100	就労継続B型	3,088	242
区	419	27	いきいき通所	2,985	197
行 政	13,735	848			
つくしんぼ	859	239	合 計	35,291	3,087

②A館部屋使用回数及び稼働率（開館日は、年末年始を除く毎日）

開館日数：358日

部 屋	使用回数	人数	稼働率(%)	部 屋	使用回数	人数	稼働率(%)
研 修 室 1	321	3,477	89.66	点 字 手 話 室	202	928	56.42
研 修 室 2	255	2,807	71.23	録 音 室 ・ 前 室	31	114	8.66
和 室 1	201	1,613	56.15	いきいき通所	197	2,985	55.03
和 室 2	203	1,656	56.7	ミーティングルーム	72	462	20.11
相 談 室	270	843	75.42				
調 理 室	190	1,816	53.07	合 計	1,942	16,701	

③B会館部屋使用回数及び稼働率（開館日は、土・日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日）

開館日数：243日

部 屋	使用回数	人数	稼働率(%)	部 屋	使用回数	人数	稼働率(%)
就労継続B型	242	3,088	99.59	調 理 室	41	426	16.87
つくしんぼ	239	859	98.35	e スポーツ室	109	672	44.86
ま ろ ん	239	650	98.35	職 員 室	239	1,891	98.35
支 援 室	220	3,600	90.53	相 談 室	239	2,297	98.35
多 目 的 室	276	5,107	113.58	合 計	1,844	18,590	

(2) 地域福祉センターいわま

①利用延人数及び利用団体数

名 称	利用延人数	団 体 数	名 称	利用延人数	団 体 数
ボランティア	2,785	248	社 協	1,560	96
支 部 社 協	0	0	就労継続B型	1,518	239
団 体	43	11	いきいき通所	2,445	197
区	0	0			
行 政	9,411	55	合 計	17,762	846

②部屋使用回数及び稼働率（開館日は、土・日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日）

開館日数：124日

部 屋	使用回数	人数	稼働率(%)	部 屋	使用回数	人数	稼働率(%)
図 書 室	4	20	1.65	ロ ビ ー	14	2,033	5.79
集 会 室	157	3,161	64.88	栄 養 実 習 室	52	368	21.49
相 談 室	85	190	35.12	健 康 教 育 室	51	362	21.07
和 室	2	384	0.83	就労継続B型	239	1,530	98.76
検 察 室 1・2	40	2,038	16.53	いきいき通所	211	4,449	87.19
指 導 室	47	1,600	19.42				
ボランティア室	60	1,627	24.79	合 計	962	17,762	

(3)「クーリングシェルター」の開設

熱中症による健康被害を防止し、市民の生命と健康を守るため、「クーリングシェルター」を設置しました。

クーリングシェルターは、本来の目的での施設利用の有無にかかわらず、一時的に暑さをしのぐ場所として誰でも利用できる施設です。

V. 障害者支援事業

26. 障害者就労継続支援B型事業

在宅の心身障がい者が通所により、日常生活に必要な社会訓練や作業訓練を行い、生活への適応と生きがいを高めるサービスを提供しました。

名 称		たけのこ					あおぞら				
利 用 者 数		15					8				
内 訳	療 育 手 帳 級 別	㊦	A	B	C	計	㊦	A	B	C	計
		1	7	4	0	12	0	2	2	1	5
	身体障害者手帳級別	1級	2級	3級	4級	計	1級	2級	3級	4級	計
		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	精神障害者保健福祉手帳・その他	3					3				
開 所 日 数		239					239				
入 所 者		1					0				
退 所 者		0					1				
内 容		週5日（月曜日～金曜日） 午前9時30分～午後3時30分 作業支援を中心に、各種事業及びレクリエーションの実施、社会参加									

*療育・身体障害者手帳両保持者有

27. 指定特定相談支援事業所

障害のある方が障害福祉サービスを利用するにあたって、相談支援専門員が一人ひとりに適したサービス計画を作成しました。

笠間市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所を令和6年7月より開設しています。

(1) 計画相談支援件数累計

内 容 対象者 事 項	本事業の利用に関するもの				合計
	身体障がい者	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	
相 談 件 数	1	2	20	0	25
新 規 契 約 件 数	1	1	15	0	17
引 継 契 約 件 数	0	3	2	0	5

(2) 地域別対象者数

市内：21人

市外：1人(桜川市)

VI. 介護予防・日常生活支援総合事業

28. 通所型サービス「いきいき通所事業」

ひとり暮らしや外出する機会が少ない高齢者を対象に、日常生活の孤独感解消や自立した生活を促進し、高齢者の生きがいをづくりと介護予防を支援することを目的として、専門性及び身体介護を伴わない通所型サービスを提供しました。

	笠 間	友 部	岩 間
利用延人数	2,070	2,984	2,440
開 催 日	水から金曜日	火から金曜日	火から金曜日
実 施 日 数	148	197	197
開 催 場 所	地域交流センター はこだ、稲田、みなみ	地域福祉センター ともべA館	地域福祉センター いわま
主なサービス	- 身体的な機能低下を予防するための体操や運動レクリエーション活動 ※運動機能向上に資するプログラム（シルバーリハビリ体操、スクエアステップ等）を一人当たり2回／月程度実施 - 認知症及び閉じこもりを予防するための活動 - 趣味や特技を活かした、生きがいをづくり活動 - 栄養改善のための活動及び健康チェック（血圧や脈拍測定） - その他、参加者及び地域の特性に合せた行事 - 自宅から会場への送迎 - 食事の提供		

・3地区指導員ミーティング及び研修会

実施内容のベースアップを図るため、毎月3地区指導員のミーティングを実施しました。

開催日	内 容	場 所	参加者
毎月第2月曜日	地区での行事予定確認、レクリエーションの共有	社協本所及び支所	72
R6.11.18	常陸太田市「生き生きふれあい事業」視察研修	常陸太田市社協	8

・DKエルダーシステム（DAM）の導入により、レクリエーション内容の質を高めました。

29. 訪問型サービス「ふれあいサポート事業」

要支援者及び介護予防対象者に対し、身体介護を含まない生活支援を行い安心して日常生活を過ごすことができるよう支援しました。

①活動内容

清掃・調理・買い物代行・ゴミ出し

②ふれあいサポート利用延人数

	笠 間	友 部	岩 間	合 計
45-60分	42	642	48	732
45分未満	93	195	87	375

30. 生活支援体制整備事業

単身や夫婦のみの高齢者世帯等が増加する中、医療・介護の専門的なサービスのみではなく、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図りました。

①第2層協議体の開催

実施日	内 容	会 場	参加者
6. 5. 20	箱田小圏域第2層協議体「友びきの会」	箱田地内	15
8. 23	・社会資源を巡る街歩きのコース下見	社協笠間支所	16
11. 9	・「箱田の名所めぐりハイキング」実施に向けての検討	箱田地内	30
7. 2. 28	・「箱田の名所めぐりハイキング」実施 地域おこし協力隊とのマッチング、協議体への参加、情報交換	地域交流センター はこだ	16
6. 4. 22	東小圏域第2層協議体「大池田の会」	(株)アドバンフォース	17
7. 29	・(株)アドバンフォースとの情報交換・見学・マッチング	地域交流センター	15
8. 30	・東中大運動会への参加について話し合い	大橋	20
10. 14	・旧東中大運動会	旧東中学校	21
7. 1. 20	・茨大井上ゼミとのマッチング	社協笠間支所	9
7. 1. 20	・(株)茨城プラネッツ福祉センターとのマッチング・情報交換	社協笠間支所	9
7. 1. 24	稲田小圏域協議体 ・地域の情報共有、ワークシートの実施	社協笠間支所	24
6. 5. 28	宍戸小学校区第2層協議体「3日前の会」	地域福祉センター	15
8. 27	・宍戸地区(旧陣屋・松山団地)における移動販売について、どうしたら使いやすくなるかの検討・共有	ともべA館	16
11. 26			11
7. 2. 25	・男性の地域活動への参加、地域・個人の草刈りについて、情報共有・検討 ・歴史民俗資料館について、生涯学習課との情報共有、マッチング ・歴史民俗資料館での地域交流イベントの検討		13
6. 4. 24	東支部圏域第2層協議体「東風の会」	地域福祉センター	17
7. 24	・自分たちの地域の社会資源について話し合い	ともべA館	14
10. 2	・社会資源を地図に落とし込む		9
11. 12	・サロン説明会実施に向けての検討・情報共有（サロン未実施地域へ広めるため）		9
7. 1. 23	・サロン説明会デモンストレーションの実施。協力サロンとのマッチング		13
6. 5. 29	中央支部圏域第2層協議体「三月の会」	地域福祉センター	11
8. 28	・地域の情報共有	ともべA館	13
11. 27	・会のネーミング決定		10
7. 2. 26			15
7. 3. 21	大旭支部圏域協議体 ・話し合いを始めるための勉強会 講師：笠間の森カウンセリングルーム 永原 信彦氏	地域福祉センター ともべA館	12
6. 6. 18	岩間地区第2層協議体「和気あいあいの会」	地域福祉センター	16
9. 24	・地域交流センターいわまを中心とした地域の活性化について話し合い。情報共有、できること探し	いわま	19
12. 24		地域交流センター	16
7. 3. 25	・地域交流センターいわまとのマッチング、情報交換、協議体への参加	いわま	18

	・交流センターいわまでの地域食堂実施に向けた検討 ・岩間ライオンズクラブ、青少年岩間地区市民の会、生長の家とのマッチング、情報交換、協議体への参加		
--	--	--	--

②意見交換会（高齢福祉課・地域包括支援センター・社協）

実施日	内 容	会 場	参加者
毎月第3火曜日	情報共有、進捗状況の確認、課題検討	地域福祉センターともべA館	毎回6

③コミュニティサロンへの支援

随時訪問し実施状況の確認、運営者との情報共有や相談、マッチング等に対応しました。市内28団体

地区	サ ロ ン 名	開催日	会 場	訪問数	相談等支援	出前講座等
笠間	サロンいけのべ	毎月第3月曜日	地域交流センター池野辺	1	5	2
	青葉の会	毎月第3月曜日	20区児童公民館		2	
	サロンぐうちよきば	毎月第3金曜日	15-1区公民館	2	8	1
	ふれあいサロン来栖	毎月第4土曜日	地域交流センターくるす	1	5	2
	大町元気会	毎月第3水曜日	かさま歴史交流館井筒屋		1	
	健幸カフェ	毎月第4火曜日	地域交流センターいなだ	1	4	
	大郷戸サロン	毎月第1金曜日	大郷戸農村集落センター	3	7	1
	サロンもとど	毎月第2・4月曜日	地域交流センターもとど	2	2	
	サロンわらくの会	毎月第4木曜日	地域交流センターはこだ	2	1	
	福ふくサロン	毎月第1金曜日	関戸コミュニティセンター	4	10	3
友部	松山サロンまつぼっくり	毎月第1水曜日	松山団地集会所		9	1
	館古宿サロン	毎月第1・3金曜日	館古宿公民館		6	
	ふれあいサロン兎	毎月第2木曜日	長兎路区構造改善センター	1	5	2
	ふれあいサロンなごみ	毎月第2木曜日	旭崎新農村集落センター	2	7	4
	当の越サロン	毎月第2金曜日	地域交流センターともべ	4	8	3
	小泉サロン	毎月最終木曜日	南小泉新農村集落センター		7	
	しらゆりサロン	毎週木曜日	代表者敷地内プレハブ		1	
	陣屋カフェ	毎月第2火曜日、第4土曜日	旧陣屋コミュニティセンター	4	6	1
	サロンde五平	毎月第2月曜日	五平公民館	3	9	1
	サロン悠遊	毎月第4土曜日	柿橋団地公民館	1	11	1
	サロンひより	毎月第1水曜日または第4日曜日	旭台公民館	1	7	1
	サロン滝川	毎月第4金曜日	滝川公民館	2	7	
	子育てサロンいろはな	毎月1回	代表者自宅など	1	10	
	女子会なごみ	毎月第2・4月曜日	日吉町東公民館	1	2	
岩間	コスモス	毎月第1・3月曜日	吉岡住宅公民館			
	吉岡二区ふれあいサロンあゆみ	毎月第1火曜日	吉岡二区自治会コミュニティセンター	4	9	1
	談話処春水	毎月第4水曜日	北根公民館	1	5	
	サロンはしば	毎月第1土曜日	北根公民館	1	4	

④新規サロンへの支援

地区・サロン名	支援内容	開所日・実施	相談支援
参り坂区	サロンの立ち上げ支援、助成金の案内	未定	2
22区	サロンの立ち上げ支援、助成金の案内	未定	1

⑤地域ケアコーディネーター等との連携

時期	支援内容
4. 4～ 継続支援中	ひきこもりサロン「さんぽみち」利用者の社会参加のステップアップとして、身近なコミュニティサロンへの参加を支援しました。
6. 11. 28	ひとり暮らし高齢者でサロンの利用希望者宅を訪問し、サロン及びふれあい電話サービスの利用につなかりました。

7. 3. 19	コミュニティサロン参加者より親族のひきこもりについて相談を受け、生活困窮者自立相談担当へつなぎました。
----------	---

⑥その他

実施日	内 容	会 場	参加者
7. 1. 28	茨城県社会福祉協議会の生活支援体制整備事業紹介映像制作に協力。	地域福祉センターともべ	4
1. 30	生活支援体制整備事業 意見交換会（第1層協議体）への参加協力。第2層協議体代表者の選出、参加調整ととりまとめを実施。	笠間市役所	27

⑦研修関係

実施日	内 容	会 場	参加者
6. 6. 12	生活支援体制整備事業基礎研修会	Zoomによるオンライン研修	6
8. 27	エンディングノートの書き方ポイント勉強会	市役所本庁	2
9. 11	生活支援体制整備事業現任担当者向け研修会	ひたちなか市勤労者総合福祉センターワークプラザ勝田	2
11. 15	第2回生活支援体制整備事業現任担当者向け研修会	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館	3
12. 3	社協職員オンラインサロン 南区社協の重層的支援体制整備事業の取組について	Zoomによるオンライン研修	3
12. 9	ちいすけイバラキ（笠間市）養成講座	Zoomによるオンライン参加	2
7. 1. 17	事業所説明に参加	地域交流センターともべ	2
2. 4	常陸大宮市生活支援体制整備事業「暮らしの中のお宝発表会」	常陸大宮市文化センター	3
2. 6	生活支援体制整備事業ブラッシュアップ研修会	茨城県立健康プラザ 水戸合同庁舎	4 3

Ⅶ. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

介護保険サービス、障がい福祉サービス提供による収入で介護保険事業所を運営しています。

3 1. 居宅介護支援事業

ケアマネジャーが介護に関する相談を受け、心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行いました。

	介護度別利用実人数								
	事業対象	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計
4月	7	18	41	121	116	76	24	21	424
5月	7	13	39	120	114	77	32	16	418
6月	7	17	38	131	112	85	33	16	439
7月	7	18	38	133	107	83	31	15	432
8月	4	20	33	126	112	80	30	15	420
9月	6	21	32	120	122	76	41	14	434
10月	6	20	38	120	122	85	35	15	441
11月	5	26	37	123	115	87	36	14	443
12月	6	25	36	119	113	87	38	13	437
1月	6	27	42	116	107	91	40	12	441
2月	5	32	38	116	111	91	42	15	450
3月	7	33	39	122	114	89	34	14	452
計	73	270	451	1,467	1,365	1,009	416	180	5,231
前年度	65	219	440	1,407	1,419	1,081	432	201	5,264

3 2. 訪問介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）が自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）を行いました。

	介護度別利用実人数									訪問回数	訪問時間
	事業対象	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計		
4月	4	20	29	36	24	12	4	4	133	1,081	1,030
5月	4	20	27	35	24	10	4	5	129	1,128	1,076
6月	3	19	28	35	24	9	4	5	127	1,011	976
7月	4	18	26	36	25	10	4	5	128	1,097	1,045
8月	4	19	26	35	26	9	3	6	128	1,002	944
9月	5	18	27	35	28	8	4	5	130	1,047	977
10月	5	17	29	35	28	8	5	4	131	1,172	1,104
11月	5	16	29	36	28	9	4	4	131	1,075	1,017
12月	6	19	29	36	27	10	3	3	133	985	961
1月	5	19	30	35	26	11	4	3	133	974	941
2月	5	21	31	36	26	10	3	3	135	980	945
3月	5	20	32	36	26	9	3	3	134	1,028	991
計	55	226	343	426	312	115	45	50	1,572	12,580	12,007
前年度	41	255	329	412	306	191	70	63	1,667	13,126	12,314

3 3. 訪問入浴介護事業

看護職員と介護職員が自宅を訪問し、利用者の身体の清潔保持、心身機能の維持回復、生活機能の向上を目指し、持参した浴槽を使って入浴介護のサービスを提供しました。

	介護度別利用実人数							訪問回数
	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計	
4月	0	0	1	2	3	5	11	67
5月	0	0	1	4	4	6	15	82
6月	0	0	0	5	5	6	16	83
7月	0	0	0	7	5	6	18	93
8月	0	0	0	5	5	6	16	85
9月	0	0	0	4	5	6	15	92
10月	0	0	1	3	5	7	16	89
11月	0	1	1	3	5	6	16	82
12月	0	1	1	3	5	6	16	82
1月	0	1	1	5	4	5	16	89
2月	0	1	2	4	4	5	16	90
3月	0	1	2	3	3	5	14	84
計	0	5	10	48	53	69	185	1,018
前年度	0	0	27	28	64	89	208	994
(重度入浴利用者)							0	0

3 4. 居宅介護事業（ホームヘルプ事業）

訪問介護員が障がいのある方へ、入浴、排せつ及び食事等の介護サービスや調理、掃除等の家事サービスを提供しました。

	利用実人数	訪問回数	訪問時間
4月	34	258	342
5月	34	254	331
6月	36	264	333
7月	37	266	355
8月	39	257	319

9月	40	268	331
10月	40	293	372
11月	38	269	345
12月	38	244	310
1月	39	230	288
2月	36	214	266
3月	38	259	304
合計	449	3,076	3,896
前年度	375	2,825	3,672